

色素沈着組織の病態解明に関する研究

2015年から2018年までに色素斑の確定診断および治療のために皮膚生検もしくは手術を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「色素沈着組織の病態解明」という研究を行います。この研究は、2015年1月1日より2018年3月31日までに日本医科大学付属病院皮膚科にて、色素斑の確定診断および治療のために皮膚生検もしくは手術を受けた患者さんの色素沈着組織の病態解明を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：色素沈着組織の病態解析

研究期間：2017年3月24日（倫理委員会承認日）～2018年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 皮膚科 船坂 陽子

(2) 研究の意義、目的について

色素沈着にはターンオーバーも関係しています。栄養素の代謝に異常があるとメラニンの排泄も滞る可能性があります。色素沈着組織の患部における栄養代謝異常の有無を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について

2015年1月1日より2018年3月31日までに日本医科大学付属病院皮膚科にて、色素斑の確定診断および治療のために皮膚生検もしくは手術を受けた患者さんの色素沈着組織を免疫組織染色にて解析し、皮膚組織における栄養代謝異常の有無について検証します。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 皮膚科 教授 船坂 陽子

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：4163

メールアドレス：funasaka@nms.ac.jp